

さんよう広場

令和7年4月 第59号

藤井病院長よりごあいさつ



病院長
藤井 郁三

新年度を迎え皆様にごあいさつ申し上げます。

今年は3月まで寒い日が続きました。年始のインフルエンザの流行に加え新型コロナウイルス感染症も一定数認められ、年始から入院加療を必要とする患者様が多く病床は満床の状態となりました。

振り返ると新型コロナウイルス感染対策を始めてから早くも5年が経過しました。町の様子を見渡すと多くの方々はほぼ日常を取り戻し、感染症に対する恐怖心は明らかに減少しています。しかし、高齢者や免疫が低下しているの方々にとっては、いまだに命にかかわる病気であることに変わりはありません。

そのため当院では引き続き無症状のコロナ感染者や潜伏期間を考慮し、入院時のコロナ検査、一時的な個室対応、発熱時のコロナ抗原検査などの感染対策を実施しております。皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

また昨年より家族の面会ルールを大幅に緩和いたしました。長期間の入院生活では、患者様にとって家族とのふれあいが何よりの励みとなります。家族との会話や温もりは患者様の心の支えとなり、生きる活力を与えてくれるものです。特に高齢の患者様にとってはご家族の存在が治療への意欲に繋がることも少なくありません。こうした面会の機会を大切にしながらより良い療養環境を整えてまいります。

この5年間、感染拡大防止の観点からライフスタイルや職場環境の多様化が進み、オンラインで用事を済ませる機会が増えました。その一方、直接の対話や交流の重要性も改めて見直されるようになっていきます。当院では長らく中止していた院内行事についても、今年は感染状況を注視しながら段階的に再開を検討してまいります。

当院は地域の皆様に寄り添いながら、高齢化が進む地域医療の第一線を担い続けることを使命としております。これからもすべての職員が協力し、職種を超えたチーム医療を実践することで患者様にとって最善の医療を提供してまいります。また医療情報の発信を積極的に行い、地域の皆様に信頼される病院を目指して尽力してまいります。

新年度も地域医療の充実と発展に向けて職員一同邁進してまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年度のごあいさつとさせていただきます。



新しい医師のご紹介

令和7年4月から三木山陽病院内科で勤務させていただくことになりました小谷光と申します。

大学時代は糖尿病の研究を、市中病院では糖尿病、消化器疾患、動脈硬化性疾患などの診療を行ってきました。

これまでの経験を活かし、疾患・臓器・部位を限定することなく、患者様のニーズにあった総合的かつ最適な医療を提供することを心がけて地域の医療に貢献したいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



内科
こたに こう
小谷 光

今年度より内科で勤務させていただくことになりました村上です。

以前は北播磨総合医療センターで10年弱勤めておりましたので三木・小野地域は馴染み深く、大好きな土地柄です。

専門は内分泌・代謝・糖尿病で、食事・運動療法が重要な疾病を中心に内科一般の診察を行います。

私自身、以前は肥満でしたが、20kgの減量に成功いたしました。

ご病気が皆様の幸せな生活を損なわないように助力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。



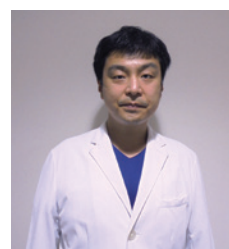
内科
むらかみ たく
村上 拓

令和7年4月より三木山陽病院眼科で勤務させて頂く金井友範と申します。

平成21年に岡山大学を卒業し、兵庫県下にて臨床研修を行い神戸大学眼科学教室に入局、眼科専門医取得後に北播磨総合医療センター、神戸海星病院にて勤務を行って参りました。

この度、ご縁があり約8年ぶりに再び北播磨地域にて勤務させて頂けることを大変嬉しく思います。

難症例の白内障手術や網膜硝子体手術にも力を入れていきたいと考えております。患者様に寄り添った優しい医療を提供し、「見える喜び」を感じ取っていただける様、努力して参りますので宜しくお願いいたします。



眼科
かない ともり
金井 友範

令和7年4月1日より整形外科で勤務させていただくことになりました瀧上俊作です。

兵庫県出身で、平成28年に神戸大学医学部を卒業後、初期研修を経て神戸大学整形外科に入局しております。関連病院で様々な症例を経験し、令和4年に整形外科専門医を取得しております。専門医取得後は、神戸大学大学院医学研究科整形外科学に進学し、基礎研究を行っております。

地域の皆様に少しでも貢献できるよう、日々診療に従事させていただきます。よろしくお願いいたします。

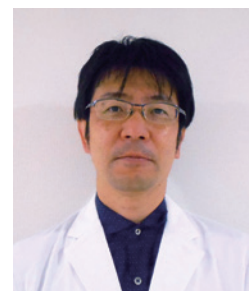


整形外科
たきがみ しゅんさく
瀧上 俊作



目の花粉症（アレルギー性結膜炎）対策について

春になるとスギやヒノキの花粉が飛散し、多くの方が目のかゆみや充血、涙目などの症状を訴えます。これは「アレルギー性結膜炎」と呼ばれる花粉症の目の症状であり、アレルゲンとIgE抗体という免疫グロブリンが抗原抗体反応を起こし15分くらいで症状が出る即時型（1型）アレルギーです。目に起こりやすい原因として結膜（白目）が直接外界に接していること、涙液によって抗原が溶かされやすいこと、結膜に実際にアレルギー反応を引き起こす免疫細胞がたくさんあるからと言われています。



眼科

藤井 誠一郎

・目を守る基本対策

まず「花粉を目に入れないこと」が大切です。外出時は花粉対策用のメガネを使用し、特にソフトタイプのコンタクトレンズは花粉が付着しやすいため、こまめな洗浄や使い捨てレンズの使用を検討しましょう。

・目薬の正しい使い方

何年もの間、繰り返している方は毎年2月10日前後が花粉の飛び始める時期なので、その二週間くらい前から抗アレルギー点眼薬の投与を開始すると効果的と言われています。症状が出た場合は、抗アレルギー点眼薬を適切に使いましょう。アレルギー反応の中でかゆみやくしゃみを引き起こす指令を伝える物質が、細胞から血液に出てこないように抑える薬です。

症状が強い場合は、ステロイド薬を用いることもあります。適切に使用すればとても優れた薬ですが眼圧が上がるなどの副作用が現れることがあり、使用にあたっては注意が必要です。それでも強いかゆみなどで日常生活や仕事に差し支えある場合は飲み薬として抗アレルギー薬を服用することもあります。

花粉症による目の症状でお困りの際は、ぜひ眼科を受診し、ご自身に合った治療を受けてください。

糖尿病教室よりお知らせ

●令和7年（2025年）度 糖尿病教室予定表

《日時》 毎月 第3木曜日（祝日の場合は第4木曜日） 13:00~14:30

《会場》 本館3階 会議室 《参加費・申込み》 不要（※12月のみ要申込み）

糖尿病をお持ちの方だけでなく、ご興味があればどなたでも参加頂けます。



日程	タイトル	講師
4月17日（木）	高齢者の糖尿病について	病院長 藤井 郁三
5月15日（木）	高齢者の栄養管理・何をどのくらい食べるの	栄養科 大西 直子
6月19日（木）	オーラルフレイルについて	歯科医 船原 晃
7月17日（木）	フットケアの実際・爪の切り方について	看護師 北山 幹子

8月以降の情報は、病院ホームページ又は院内ポスター・チラシなどでお知らせいたします。

スキマ時間のストレッチ

アキレス腱を伸ばすことで足首が柔らかくなり、転倒リスクの軽減が見込めます。スキマ時間や食後等に30秒~1分間ほど、継続してストレッチを行いましょう！



サンスマイル三木の外壁改修工事完了のお知らせ

3月20日（木）をもって、サンスマイル三木の外壁改修工事を完了しました。駐車場の使用制限や騒音等、ご来院の皆様にご迷惑をおかけしました。長期に渡ってご協力いただき、誠にありがとうございました。



保育所のお別れ会のご紹介

3月28日（金）、令和6年度のお別れ会を開催しました。子どもたちは少し緊張した様子でしたが、保護者の皆さまに見守られながら、スマイル証書を受け取りました。その後、保育所で過ごした約3年間の写真を振り返り、温かな雰囲気の中で卒園を祝いました。4月からそれぞれの園へと巣立つ子どもたち。これからも友だちを、そして自分自身も大切にできる素敵な人に成長してほしいと願っています。



サンさん健康広場のご案内

令和元年以来、コロナ禍により開催を見送っていたサンさん健康広場を令和7年10月26日（日）、6年ぶりに再開する予定となりました。詳細については、当院のホームページ等で後日ご案内いたします。皆様のご参加を楽しみにお待ちしております。



退職した医師のご案内

3月末日をもって、当院を退職した医師をご案内いたします。

内科	新開	雅彦
内科	堀井	進一
整形外科	楠瀬	正哉



アクセスMAP



医療法人社団 朋優会

三木山陽病院

〒673-0501

三木市志染町吉田 1213-1

TEL 0794-85-3061

FAX 0794-85-3582

URL <http://www.hoyukai.or.jp>

E-mail info@mikisanyo-hp.com

